

事業所における自己評価結果(公表)

(放課後等デイサービス)

別紙3

公表:令和5年5月12日

事業所名:放課後等デイサービスぱぷりかランド

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点★解説
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースの確保ができています。 ★スペース的には集団療育できる広いスペースから個別療育する小スペースを利用人数や療育内容に応じて空間づくりをすることができる。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> 基準人員の確保ができています。 適切になるよう声をかけあっている。 集団での活動の際に時々人員不足を感じる。 人員配置は満たしていますが子どものその日の状態で多くの手があるといいと思います。 ★人員配置は厳守しています。それ以上の職員を利用人数や内容に応じて配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	6		<ul style="list-style-type: none"> 玄関、外階段他はバリアフリー。 室内はバリアフリーの配慮が適切であるが外階段と玄関は段差があるのでケガが無いように見守っている。 ★★建物的な不便さはあるかもしれませんが、良い面もあります。子どもが飛び出しにくい階段や交通量の少ない道。物理的な欠点は職員対応でカバーする事ができます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 教育理念に基づき業務に取り組んでいる。振り返りを行い更なる改善に努めたい。 ★全職員で業務改善は行います。PDCAで大切なのは見直しです。常に子どもと保護者様の状況を認識いたします。 ★業務改善の為の職員の知識・技術の向上への取組は高い意識の元毎日行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 支援の質向上に向けて更に話し合いの場を設けたい。 ★家庭支援、家庭教育をしていくうえで保護者様の声は重要な教育資源なので柔軟に対応していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ★日々の活動内容やお知らせは、事業所前にある「掲示板」をフル活用しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ★子どもたちへの成果向上のために、外部評価も視野に入れ自分たちが見落とししている箇所を改善していきたいと考えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 社内研修及び外部研修に参加し記録を残している。 定期的な社長による研修が行われている。 ★「職員の成長なくして、子どもの成長はなし」のごとく、よりよい療育、教育を目指し、研修はもとより毎日を学びの場としています。 ★職員の研修は非常に力を入れています。

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者との面談を定期的に行いニーズと課題を把握。担当者による目標→評価記録を基に話し合い、計画を行っている。 ★療育・教育方針を決める上でアセスメントは保護者様との重要な機会及び保護者様の学びの場としています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			ガイドラインを通した生活能力の評価を行い支援に繋げている。 ★ヒアリング事項を充実させたアセスメントツールの開発をしていきます。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			ミーティングで活動プログラムの立案及びセッションの研究をチームで行っている。 ★音楽療育とはチーム療育でもあります。活動プログラムの立案においては職員のチーム力が当事業所の強みでもあります。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			季節に応じたプログラムや音楽療育を取り入れたセッション等を日々研究している。 ★★もともと音楽療育というのはプログラムが固定化しないことが特徴です。事前に準備したプログラムでも子どもの様子、気持ち、感情などその時の状況によりフレキシブルに対応することが可能である。常に最適な療育ができるよう準備しています。 ・プログラムの固定化と教育上の習慣形成は全く違うものなので、しっかり区別をしています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		長期休暇では季節に適したイベントを計画している。 ★子どもの長期休暇は最高の家庭支援、家庭教育の場として日頃、当事業所で学んでいることを実践する場として捉え、さらなる支援及び学びを強化していきたいと思えます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			アセスメントモニタリング面談で聞き取りした課題やニーズに沿った個別及び集団活動を組み合わせている。 ★支援計画作成においては子ども本人の状況はもとより、保護者様や家族環境、生活環境も視野に入れ計画作成を行います。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・毎朝と昼食後にミーティングを行い情報共有と個別に担当者を決めている。また活動担当者も決めている。 ・毎日欠かさず打合せを行っている。 ・時間できちんと決め全員が参加する ★これは基本中の基本としてとらえ、子ども本人や保護者様、職員の当日の体調、感情、気持ちを配慮し利用時間を有意義なものに作り上げています。

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・降所後に振り返りを行い翌日朝のミーティングにて引継ぎを行っている。ミーティングノートに記録し全職員の共通理解に努めている。 ・日々セッション後気になった児童について話し合いを行っている。 ・毎日欠かさずセッション後に職員間で振り返り、話し合っている。 ・気づいた点は必ず職員を通して振り返っている。 ★その日の支援をやりっぱなしにするのではなく、「もし、もう一度支援をするなら」の問いを思考し、次につなげる「気づき」を獲得します。 	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			<p>担当者による振り返り記録を全職員が目を通し必要に応じた検討会で支援方法の改善に繋げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の振り返りをその日の内に必ず記録をしている。 ★記録とは成長結果のビフォーアフター及び全職員が全ての子どもの状況を知る為にあると捉え、日々検証・改善の努力を絶やしません。 	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			<p>直接面談を行い見直しをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★単なる一時的なモニタリングではなく子どもと保護者様の状況によっては回数を増やし状況改善に努めます。 	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8			<p>偏りのない支援に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ガイドラインを参考に、子ども本人に最適な支援を行う努力をしている。 	
関係機関や保護者との連携関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			<p>必要に応じて管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★担当職員や緊急及び重要な事柄においては設置者も参画いたします。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	1	<p>こちらから情報発信は行っていないが、適時情報共有と相互理解に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★当事業所は保護者様の送迎が基本の為、学校との情報共有は薄い傾向にあります。学校等の情報は保護者様を通して情報交換を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	1	<p>現在医療的ケアの対象となる方の利用なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの聞き取りはこまめに行うようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		2	<ul style="list-style-type: none"> ★子どもの成長、教育、療育に必要な情報は垣根を越えて把握していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	1	<p>適時対応したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ★卒業後の関係機関からの要請、保護者様からの希望、本人の状況に応じて情報共有をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		1	<p>機会があれば受けたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ぜひ、各所専門機関様のご指導を受けたいと思います。

機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	機会があれば受けない ・感染症リスクや時間的な事もあり交流する機会はまだない。 ★コロナ緩和後、積極的に取り組んでいきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4	機会があれば受けない ★コロナ緩和後、積極的に取り組んでいきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			直接面談、電話相談、連絡帳での相談を随時受け付けている。全て記録し共通理解。 ★当教室が送迎しない方針は「保護者様との直接会話」にあります。子どもだけに焦点をあてるだけでなく、しっかりと日頃からの保護者様との情報交換を大切に、保護者様が学べる環境を用意しています。保護者様にも寄り添い協力して子どもの支援を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			感染対策のために個々の家族支援を中心に行っている。 ★★当教室は「親の学び6割」をモットーとし、保護者様と共に子どもたちの支援に関わっています。保護者様にも学べる場としての勉強会を開催します。特に「チャレンジシート」である目的目標設定シートの運用には力を入れており、そのための土台、環境づくりを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に対面で丁寧に行っている。 ★支援内容については「家庭教育」にも力を入れているのでしっかりと保護者様と連携をとり、常に学ぶ姿勢で、説明及び確認をさせていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			随時相談を受けており担当者、児童発達支援管理責任者を中心に対応している ★相談内容によっては、緊急な事、重要な事に分けて対応します。 緊急な事についてはスピーディーかつ的確に対応いたします。 重要な事については、子どもや保護者様のみならず、ステークホルダーの方々にも、目を向け、本質的な課題解決に向けて対応いたします。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	5	感染対策をとり現在は行っていません。 ・コロナのため行われていない。今後取り入れる。 ★今までは感染予防のため、思うようにできませんでしたが、コロナ緩和で定期的な「保護者勉強会」や父兄参観、演奏会などを 行い、すべての保護者様が1つのチームになるような保護者同士の連携を行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			随時相談(事業所内相談支援)を行う事を個別支援計画書に記載している。対応について契約時に説明。 ★★子どもや保護者様からの苦情などについては、積極的かつ前向きに取り組む姿勢を常にもっています。もし何かあればスピーディーに改善対応を行います。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定を月カレンダーに記載の上お知らせを掲示板に載せている。 ・掲示板を活用しています。 ★日々の活動内容やお知らせは、事業所前にある「掲示板」をフル活用しています。 ★また地域の方も見ることができ、「地域支援」に繋がってきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			鍵付き書庫 事務室で保管 ★プライバシーマーク取得企業です。 情報管理は厳しい体制をとっています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			特性に応じたコミュニケーション方法により伝達の為の配慮を行っている。 ★連絡ツールだけに頼るのではなく、私たちの意識を常に磨いておくことが大切です。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	4	★コロナが緩和されれば順次、音楽療育における演奏会、勉強会、イベントを行って行きます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			各マニュアルを作成し対応方針をパウチしすぐに確認できるようにしている。保護者への周知を今後行っていきたい。 ★地震マニュアル、火災マニュアル、不審者マニュアル、保護者様緊急マニュアル、体調不調マニュアル、感染マニュアル、を準備しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			定期的に避難訓練を実施。年2回以上。 ★社会でニュースになった時なども明日は我が身として臨時訓練を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・研修会後の情報共有を徹底したい。 ・テレビのニュース等を議題に挙げて個人の意見を出し合ったり自分たちにあてはめて考える時間をつくりました。 ★虐待に関するすべての事柄は設置者の責任と捉え、職員の働く環境づくりを最優先に考えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	1	身体拘束を行うに値する支援方法はしていない。今後必要があれば検討の上個別支援計画書に記載する。 ★保護者様の承認及び職員の満場一致のもと、本人と他の人へのケガに対して危険性がある場合に考える事もあると思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			食事提供は行っていない。遅延型アナフィラキシー対応について個別にマニュアル作成をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	1	今後更に事例集と対策を徹底したい。 ・危険な事があった場合には職員間で情報を共有し改善方法等を話し合います。 ★ヒヤリハット事例集は作成しています。危険防止の準備は日々退化していくので、想定外の事も視野に入れ取り組んで行きます。